

## O-3-2 高周波自動整合器の修理

Thursday, 7 March 2024 14:10 (20 minutes)

核融合研究のための高温プラズマ加熱装置として、中性粒子加熱装置がある。当所では本加熱装置に高周波イオン源を適用するための学理的研究を行っている。これに必要なプラズマ放電を励起させるための発振器の仕様は供給電力 1.2kW、周波数 13.56MHz である。発振器と放電用誘導コイル間にはインピーダンス整合をとるための自動整合器が用いられる。今回この整合器（アステック社製、DH-30-02A）の制御部 PIC マイコンが破損し、内臓プログラムも消失する故障が発生した。また外注修理も困難であったため当所で行っている修理についての経過を報告する。

**Presenter:** 康彦, 伊藤 (核融合科学研究所 技術部)

**Session Classification:** 口頭発表 第3分科会 (計測制御)